

東洋インキグループ 「CSR報告書2017」のご案内

このたび、東洋インキグループでは、CSR (Corporate Social Responsibility; 企業の社会的責任) の活動をまとめた「CSR報告書2017」を発行いたしました。

私たち東洋インキグループは、経営理念に基づき、世界にひろがる生活文化創造企業を目指した活動を行ってまいりました。また、事業を通じて積極的に社会課題の解決に取り組んでいます。

本報告書では、社会課題解決のための取り組みとして、「ライフサイエンス」ドメインの進展のひとつである「貼付剤」について特集で報告しています。事業と社会とのつながりについてもイラストで示しました。

また、これまで基盤的な活動のレベルアップに力点を置いてきたCSR活動については、より一層の強化が必要であると考え、幅広いステークホルダーの視点でCSRのさまざまな課題の中から特に重要と思われる項目 (重要課題) を抽出しました。重要課題策定のプロセスについて本報告書に記載しています。

私たちは、これからもステークホルダーの皆さまにより分かりやすく読みやすい誌面構成と内容の充実を図ってまいりたいと考えています。つきましては、報告書についてのご意見・ご感想を当社ウェブサイトからお送りいただければ幸いです。

東洋インキグループ「CSR報告書2017」のポイント

1 特集部分

「世界で高まる医療・ヘルスケアへのニーズ」という社会課題に対する東洋インキグループの取り組み（「ライフサイエンス」ドメインでの展開）を示し、その一つであるポリマー技術を活用した「貼付剤」の開発について記載しています。

2 CSR活動

2016年度から進めてきた重要課題策定のプロセスを3ページにわたって記載しました。また、CSRマネジメントの部分では、CSR活動方針とその実績、CSR推進体制を記載しました。

3 BCM(事業継続マネジメント)と災害対応

BCMの取り組みとして、緊急体制の整備や耐震性の強化、原材料調達、生産補完体制の整備について記載しました。

4 多様な人材の活用と安心・安全な職場づくり

経営哲学である「人間尊重の経営」に基づき、人材の多様性を尊重した取り組みについて具体例を交えて紹介しています。また、社員がいきいきと、安全に働けるための職場づくりについても、具体的な数値などを示して紹介しています。

5 環境へのさまざまな取り組み

東洋インキグループの「環境・安全基本方針」に基づくさまざまな活動を紹介しています。環境負荷のマスバランスやCO₂排出量、エネルギー使用量、廃棄物発生量の推移を記載しています。近年、サプライチェーンでのCO₂排出量の把握・削減が求められていることから、Scope3のカテゴリを拡大し、購入した製品やサービスに由来するCO₂排出量なども把握して記載しました。

このほか、環境調和型製品、環境経営のKPIとしている環境調和効率指標の推移、水環境の保全、生物多様性への取り組み（国立環境研究所と共同で進めている生物指標を用いた排水管理手法「WET」による工場排水の環境影響評価は、東洋インキグループ独自の取り組みです）、LCA（ライフサイクルアセスメント）などについても紹介しています。

なお、本報告書はCFP（カーボンフットプリント）制度に基づきCO₂排出量を算定し、その全量をカーボン・オフセットしています。この取り組みにより、経済産業省の「CFPを活用したカーボン・オフセット制度」に基づく認証マーク「どんぐりマーク」を取得しています。

6 社会の一員としての活動

社会を構成する「良き企業市民」としての活動を報告しています。東洋インキグループはさまざまな活動を実施していますが、本報告書では、コミュニティへの参画、教育・文化活動、雇用創出・技能開発について具体例をあげて紹介しています。

7 表紙について

東洋インキグループの製品は、暮らしの中にあり、暮らしを支え、皆さまの豊かさや文化に貢献しています。本報告書の表紙では、さまざまな製品が使われている生活シーン（街並み）をイラストで表現しています。

【お問い合わせ先】

〒104-8377 東京都中央区京橋2丁目2-1

東洋インキSCホールディングス株式会社 グループ広報室

TEL:03-3272-5720 FAX:03-3272-9788 E-MAIL:info@toyoinkgroup.com